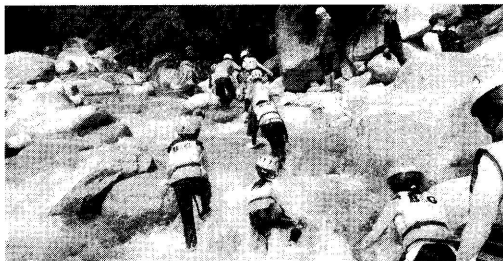


発行所 愛知県山岳連盟  
 発行人 安藤 武典  
 編集人 中平等 新一  
 名古屋市天白区中平3-1902  
 TEL&FAX 052-802-8062

◆11月29日(金)「遭難を考える」講演会(県スポーツ会館) <http://aichi-sangaku.main.jp/>

☆☆☆ 少年少女登山教室 ☆☆☆  
 ～スナップ～



文・写真 安藤 武典

少年少女登山教室(親子ふれあい山遊び)

清流の遡行やクライミング挑戦！

保護者も一緒に楽しむ！

8月18日(日)少年少女登山教室(親子ふれあい山遊び)が、三重県・朝明溪谷で小学生19人、保護者19人、スタッフ11人の49人が参加して実施されました。

毎年、日本山岳・スポーツクライミング協会の「少年少女登山教室」を愛知県は「親子ふれあい山遊び」と称して沢登りとスポーツクライミング体験を通して、山・自然に親しんでもらおうと実施されています。

当日受付後、各自持参のヘルメットに班名・名前のシールを貼り、開会式後は3班に分かれて入川ポイントへ移動し、花崗岩の岩の間の澄んだ水の中を遡行しました。

今回は、先日の台風10号の影響か水量も多く、大きな岩の間から流れる水圧に押し流される場面もあったが、子供たちは果敢に挑戦しながら、指導員の適切な判断と補助でシャワークライミングを体験しました。幸い天候に恵まれ日射しが温かく、冷えた体を温めてくれ、保護者の方にも

子供たちの頑張りを眺めながら一緒に2時間半の沢歩きを楽しんでもらいました。

終了後、ベースの山小屋に帰り、昼食にスタッフ手作りのカレー・スパゲティーやデザートをみんなで賑やかに食べました。

午後はスポーツクライミングを体験。高さ4mの人工壁をトップロープでクライミングをし、子供たちは回数を重ねるごとにうまくなっていき何回もぶら下がりながら諦めずに挑戦する子も沢山いました。また、お父さんお母さんも日頃経験することのないクライミングを存分に楽しんでいました。

保護者の方から、子供たちの頑張る姿を目の当たりにして「日頃体験できないことがやれて大変良かった」「昼食のカレーやデザートも美味しかった」などと感想をいただきました。

最後にお手伝いをしていただいた各会のみなさん、有難うございました。

### 国民体育大会・東海ブロック大会

## 健闘し本国体に全種目出場!!

7月27・28日第40回東海ブロック大会がボルダリングジム「ハンピ鈴鹿店」と岐阜県の「安ハスカイウォール」で、三重県の担当で実施された。思いもよらない台風の接近で、急きょリードとボルダリング競技の日程を変更し実施されるという台風と酷暑の大会となった。

愛知県は、成年女子の倉さんがJMSCAの強化合宿で参加できなくなり、三浦さんに出場してもらい大会参加ができた。

成績は成年女子1位、少年男子2位、少年女子1位と全種目本国体に出場できることになった。(成年男子は予選なし)選手、監督、そして家族を含む関係者の方々のおかげで好成績を出すことができた。

また、大会の運営にかかわった三重県の役員をはじめとする各県の役員の方々にも、しっかりサポートしていただき有難度うございました。

◆選手及び成績は次の通り  
 (成年女子) 総合1位 三浦真理子、石井未来  
 (少年男子) 総合2位 野中凜、佐野大輝

(少年女子) 総合1位 高尾知那、松浦くるみ

### 茨城ゆめ国体

### 成年女子ボルダリング 倉石井ペアV

- ▽成年男子リード予選 ②愛知(濱浪、市川) ③愛知(倉、石井)
- ▽成年女子リード予選 ③愛知(倉、石井) ④決勝進出
- ▽同ボルダリング決勝 ①愛知(倉、石井)
- ▽成年女子リード決勝 ③愛知(石井)
- ▽少年男子ボルダリング決勝 ⑥愛知(野中、佐野)
- ▽少年女子リード決勝 ⑤愛知(松浦、高尾)
- ▽同ボルダリング決勝 ⑥愛知(高尾、松浦)

### 常任理事会

▼9月3日(火) OMCビル

〔出席者〕安藤会長、伊藤副会長、北村理事長、岩瀬副理事長、相山、高木、栗木、多田、星、倉、谷澤各常任理事、中等等顧問

- I 報告事項
  1. 高等学校登山指導者講習会(8/7) 9国立登山研修所)北村
  2. 少年少女登山教室(親子ふれあい山遊び)(8/18 鈴鹿山系)安藤
  3. SC確保講習会(8/24岡崎)倉

4. アジア大会について
5. その他
- II 審議・お知らせ事項
  1. 山岳レスキュー講習会・西部地区(9/6) 8富山)多田
  2. 県民登山教室・机上(9/10) 県スポ)岩瀬
  3. 県民登山教室・実践下見(9/14) 御在所(鎌ヶ岳) 山)倉
  4. 第21回JOCジュニアオリンピック(9/14) 16富山)倉
  5. 第2回登山勉強会(9/25) 豊橋) 9/27(県スポ)
  6. 全日本登山大会(9/28) 30岐阜) 安藤、相山
  7. 第74回茨城国体(10/4) 6茨城) 倉
  8. 救助技術研修会・講習会(10/5) 6御在所) 高木
  9. 県民登山教室・実践(10/12) 御在所(鎌ヶ岳)
  10. 第49回自然観察会(10/19) タンナカ高原) 栗木
  11. 高体連・秋期登山講習会(10/19) 20釈迦ヶ岳)
  12. 研修所友の会・中部地区ファストエイド(10/27)
  13. 「遭難を考える」講演会(11/29) 県スポ) 北村
  14. その他
    - ・トップアスリート事業
    - ・法人化について

## 東海ブロック正副会長理事長会議 各県共通の課題を討議

7月27日(土)湯の山「湯の山口ロッジ」で、東海ブロック正副会長理事長会議が行われました。東海四県(愛知、静岡、三重、岐阜)の岳連の代表が集まり、各岳連の問題や状況を討議し懇親を深める目的で、当岳連から伊藤副会長、北村理事長、そして安藤の3人が参加しました。

とりまとめ役の三重岳連は今年大幅な人事の交代があり、新しい役員との顔合わせとなりました。

議題では、ブロック大会などの運営費の高騰、会員の高齢化による会員数の減少など

各県共通の問題を討議しました。しかしすぐ解決できる妙案はなく、今後各県で考えていかなければならない課題であります。

その他、岐阜県の講習会での事故に係わる法人化の必要性、全日本登山大会への協力、法人化や名称変更など様々な問題について話し合いました。その後、各県持ち寄りの銘酒を頂きながら意見交換をし懇親を深めました。

今後も東海四県しっかりとスクラムを組み活動していくことを約し、終了しました。(安藤 武典)

うなぎ錦三丁目 い ぼ しょう

# いぶき昇

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号  
 TEL <052> 951-1166 番

営業時間  
 午前 11:00~午後 2:30  
 午後 4:00~午後 8:00

定休日  
 日曜日・第二・第三月曜日

名古屋駅前の山用品専門店

# 駅前アルスス

〒450-0002  
 名古屋市中村区名駅4-4-10  
 名古屋クロスコートタワー 1F  
 TEL 052-565-1417

# 「全国山岳遭難対策協議会に出席して」 効果的な遭難対策のためには！

副会長 高橋 優

令和元年度全国山岳遭難対策協議会（主催・スポーツ庁）が7月5日（金）10時から、文部科学省3階講堂に於いて、環境庁、警察庁、気象庁、消防庁、日本山岳・スポーツクライミング協会などから280名が出席して行われた。

開会挨拶の後、報告事項でまず「平成30年における山岳遭難の概要」を警察庁・橋本和也氏から、30年度の特徴として道迷い・転倒が最も多く60歳以上が全体の50%を占めており、外国人登山者の遭難も急増しており、過去5年で5.3倍になっている。（次頁参照）

次に報告Ⅱ「長野県消防学校の『山岳救助科』の概要について」長野県消防課・小林信彦氏が、昨年より山岳遭難に特化した「山岳救助科」チームを設立し、スキル向上を目指している。

続いて講演「ココヘリによる救助実績報告」を久我一総氏が①現状と捜索実績②受信機、発信機の導入状況③天候不良によるヘリ出動制限、ドローンの活用。について述べ

られた。  
昼の休憩をはさんで、午後には講義から始まった。

「遭難対策の多様性（マトリクス）」を静岡大学教授・村越真氏が「事故のプロセス」次に講演①「安全登山対策の更なる充実に向けて」を富山県自然保護課・中村直弘氏。

講演②「山岳安全対策ネットワークについて」鳥取県警・藤本亮志氏。講演③「山岳遭難救助のリスクマネジメント」を富山県警・柳澤義光氏。講演の最後は「山岳遭難対策を法的に考えてみよう」を弁護士・溝手康史氏がそれぞれ担当され終えた。

講演後のまとめとして「より効果的な遭難対策のためには」をテーマにパネルディスカッションが行われた。  
終わりに「山岳遭難事故防止のために」のスローガンを採択。また「30年山岳診療所・救護所アンケート」の報告があり、17時過ぎ閉会した。

◎次回理事会は  
1月21日（火）です

## 印象に残った私の登山 24

岩倉山岳会  
長谷川 鈴代

荒川三山から赤石岳  
山岳会に入ってから十五年、この間幾多の山々に登ることができた。

昨年の夏に取り組んだ荒川三山から赤石岳への縦走は、今も強く私の心に残っている。この山行は数年前から計画していたが、膝を痛めていたので今回に至った。友人を誘って二人で山々の頂上を極めることにした。

一日目 出発の日は大雨だったが、私たちは意気揚々と出かけた。樺島ヒュッテに着く頃には雨もあがり、幸先の良さを感じた。

二日目 いよいよ登山の始まりだ。ウキウキした心地で出発したが、直ぐに息が上がった。しかし、長い道のりも楽しい会話をしながら乗り切った。駒鳥池からの一時間はきつかった。千枚小屋に着くと直ちに膝のケアをした。明日からに備えて、湿布を貼ったり、鎮痛剤を飲んだりした。幸い調子は上々だ。

三日目 来光もバッチリ、富士山とのコラボレーションも素敵だ。千枚岳に着くと三六〇度の展望が待っていた。周りの山はもろろん、中央アルプス・北アルプス・富士山まで素晴らしい眺望だ。アップダウンの連続で岩場もクサリ場も現れる。岩稜帯やザレ場を踏みしめて悪沢岳・中岳・前岳を踏破した。振り返れば通ってきた道を見下ろすことができ、それに励まされまた頑張った。長い長い下りを経て荒川小屋に到着した。

四日目 小赤石岳の肩までの登りはまるで壁のように迫って見えた。ここがいちばんつらかったところだ。そして赤石岳山頂に到着した。友とハグし合い、お互いの健闘をたたえ、しばし感激にひたつた。その後、分岐からのガラガラ道を慎重に下り、赤石小屋に着いた。いつもはガスに隠れてしまう赤石岳が、今日は夕方になっても勇姿を見せてくれた。

五日目 頑張った自分をほめつつ小屋から樺島・畑雄第一ダム経由で帰途について。今回の山行は天気にも恵まれ、どの山の頂上からも大展望を目にすることができた。

つらい登りも多くあったので「苦あれば楽あり」の人生訓をしっかりと学ぶこととなった。

**Renopoint**  
<http://www.renopoint.jp>  
**Original Wear & Goods**  
 オリジナルウェア・CMウェア（広告掲載）  
 カジュアルユニフォーム&グッズ  
 デザイン・企画・制作  
 お気軽に問合せ下さい。  
 特許出願 GLASS PERCH(グラスパ・チ)  
 株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7  
 TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renopint.jp

安心して選べる三河地区  
 のプロショップ  
 JR刈谷駅前  
**穂高**  
 〒448-0825  
 刈谷市神明町6-408  
 TEL 0566 (23) 8611  
 定休日/火曜日  
 営業時間/10:00~20:00

登山用品豊富!

◆全国遭難発生概要

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
											構成比
発生件数(件)	1,676	1,942	1,830	1,988	2,172	2,293	2,508	2,495	2,583	2,661	
遭難者数(人)	2,085	2,396	2,204	2,465	2,713	2,794	3,043	2,929	3,111	3,129	100.0%
死者:行方不明者	317	294	275	284	320	311	335	319	354	342	10.9%
死者	269	262	244	249	278	272	298	278	315	298	9.5%
行方不明者	48	32	31	35	42	39	37	41	39	44	1.4%
負傷者	670	832	819	927	1,003	1,041	1,151	1,133	1,208	1,201	38.4%
無事救出者	1,098	1,270	1,110	1,254	1,390	1,442	1,557	1,477	1,549	1,586	50.7%

◆態様別山岳遭難者

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
道迷い	1,163	1,202	1,116	1,252	1,187	37.9%
滑落	501	501	498	524	544	17.4%
転倒	401	467	471	469	468	15.0%
病気	187	232	229	232	276	8.8%
疲労	162	172	204	175	237	7.6%
その他	380	469	411	459	417	13.3%
転落	90	107	108	100	100	3.2%
悪天候	42	70	18	18	39	1.2%
野生動物襲撃	48	43	42	63	18	0.6%
落石	16	25	16	13	11	0.4%
雪崩	9	17	8	65	5	0.2%
落雷		1				0.0%
鉄砲水	2		2			0.0%
有毒ガス						0.0%
その他	108	128	146	116	149	4.8%
不明	65	78	71	84	95	3.0%
合計	2,794	3,043	2,929	3,111	3,129	100.0%

◆年齢層別山岳遭難者

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
20歳未満	153	201	174	189	176	5.6%
20～29	222	228	194	261	216	6.9%
30～39	281	277	291	240	280	8.9%
40～49	333	372	366	378	390	12.5%
50～59	402	397	421	455	486	15.5%
60～69	744	791	746	741	692	22.1%
70～79	537	609	565	669	698	22.3%
80～89	114	151	161	165	181	5.8%
90歳以上	6	14	10	13	10	0.3%
不明	2	3	1			0.0%
合計	2,794	3,043	2,929	3,111	3,129	100.0%



◆目的別山岳遭難者

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
登山	2,151	2,283	2,101	2,223	2,315	74.0%
登山	1,828	2,048	1,867	1,957	2,022	64.6%
ハイキング	188	106	110	136	161	5.1%
スキー登山	58	57	32	65	54	1.7%
沢登り	43	39	48	36	47	1.5%
岩登り	34	33	44	29	31	1.0%
山菜・茸取り	328	391	386	380	385	12.3%
その他	315	369	442	508	429	13.7%
観光	99	105	143	116	141	4.5%
作業	43	40	40	45	43	1.4%
溪流釣り	31	26	32	43	25	0.8%
写真撮影	20	21	21	21	23	0.7%
自然観賞	14	11	14	18	13	0.4%
山岳信仰	10	8	9	15	4	0.1%
狩猟	3	4	8	9	5	0.2%
スキー		57	72	77	86	2.7%
その他	87	85	92	147	73	2.3%
不明	8	12	11	17	16	0.5%
合計	2,794	3,043	2,929	3,111	3,129	100.0%

注：平成27年から、「その他」から「スキー」を分離計上。

◆単独登山者の遭難状況

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
遭難者	941	1,068	988	1,069	1,170	100.0%
死者・行方不明者	190	185	184	210	206	17.6%
死者	160	160	150	179	171	14.6%
行方不明者	30	25	34	31	35	3.0%
負傷者	291	350	327	347	385	32.9%
無事救出者	460	533	477	512	579	49.5%
全遭難者に占める単独登山中の遭難者の割合	33.7%	35.1%	33.7%	34.4%	37.4%	

◆都道府県別山岳遭難発生状況

都道府県	発生件数	遭難者数(人)				都道府県	発生件数	遭難者数(人)					
		死者	行方不明者	負傷者	無事救出			死者	行方不明者	負傷者	無事救出		
長野県	297	330	52	5	146	127	静岡県	123	146	10	4	52	80
北海道	201	243	17	2	82	142	富山県	123	131	5	2	76	48
東京都	147	185	5	2	100	78	兵庫県	118	133	9	1	45	78
山梨県	145	175	25	4	67	79	滋賀県	85	100	10		47	43
新潟県	136	157	18	4	53	82	岐阜県	61	65	12	2	26	25
群馬県	132	153	16	1	87	49	三重県	51	61	7		23	31
神奈川県	132	159	11		70	78	愛知県	37	44	3		13	28

混成チームでネパール登山

6000m峰登頂や山旅楽しむ!

岡崎山岳会 永田昌美

今年、愛知岳連内の5団体から名乗り出た6名でRST(リセット)チュルー登山隊を編成して、約1カ月半にわたりネパールで山登りと旅をおこなってきました。26歳の男性隊員を除くと、平均年齢60歳のおじさん、おばさんが主体の登山隊です。

4月半ばに日本を立ち、4月27日にアンナプルナ山群にあるチュルー・ファア・イースト(6038m)に全員登頂しました。その後、全員でテイリチヨ湖(4920m)を見学。

次に5名はアンナプルナ周遊トレッキング(カンサール・トランパス峠(5416m)・ムクチナート・タトパニ・ポカラ)を行い、5月12日に4名が帰国しました。

5月4日に5名と別れたI氏は、アンナプルナ山群にあるピサンピーク(6091m)登頂。その後、残ったI氏とN氏の2名でランタン谷トレッキングを行い、5月18日にヤラピーク(5520m)登頂。そのあとI氏はアンナプルナ山群にあるマルディヒマール(5553m)のBC(4500m)までトレッキ

ングしました。N氏は、ゴルカバディンチュルトワン国立公園周辺の旅を楽しみました。



最初は1隊ではあるが、メインであるチュルー・ファア・イースト登山後は、各人が好むスタイルで、思い思いの旅をし、あつという間のひと月半でした。

言葉の苦労もなく、わがままな行程を受け入れていただいたツアー登山会社のガイドさんと、この機会を与えてくれた家族や周囲の方々には感謝!感謝!です。

〔これからに思う事〕

現在の日本社会では、以前より長期休暇が取りにくくなってきています。また、登山者の指向性の変化によりネパールを訪れる日本の若者は減り、仕事をリタイアした60歳くらいのおじさんやおばさんが、青春時代の残像を求めような「還暦登山者」が目立ってきているように思われます。しかし、山の魅力が減ってしまったのではないのです。大いなる1座登頂を求めることも魅力的ですが、地図を眺めていると次の面白そうなプランが浮かんできます。

1. 556000m峰の複数アイランドピークドロブジ(エ)
  2. 556000m峰の縦走ピサンピーク・チュルー(東峰・中央峰・西峰)
  3. ネパールの長大トレッキングルート
  4. 釣り・自転車・バイク・ラフティング・パラグライダー・トレランなどと組み合わせる。
- 少しビッグなことを行おうとしても、単一山岳会での行動集約では人が集まらないのが現状ではないでしょうか?そこで超山岳会(山岳会の垣根を越えた山岳会(例:岳連内で同人グループを作る))を作って、まずは情報交換をおこなうことも大切かなと思います。

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設

http://climbing-park.com ☎0532-26-3737

MONTAÑA 住所:愛知県豊橋市関屋町138番地

住所 愛知県豊橋市宣町5番地 ☎0532-55-0125 http://www.montania.jp

月日	内容
11. 5	常任理事会 (OMCビル)
11. 9~10	高体連・新人大会 (釈迦ヶ岳)
11.29	「遭難を考える」講演会 (県スポーツ会館)
12. 3	常任理事会 (OMCビル)
12.17	冬山遭対会議 (県スポーツ会館)
1. 7	常任理事会
1.11	指導員集会 (刈谷アイリスホール)
1.14	第2回登山部委員会 (県教育会館)
1.21	第4回理事会 (県スポーツ会館)

観光庁長官登録旅行業第490号/(社)日本旅行業協会正会員

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社  
まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい  
個人&グループでのご利用お待ち申し上げます

名古屋営業所 TEL: 052-581-3211  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2 第3千福ビル3階  
FAX:052-561-8338 E-mail:nagoya@alpine-tour.com  
ホームページ http://www.alpine-tour.com

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号  
(地下鉄・久屋大通駅から徒歩から2分) 丸の内東桜ビル1004号室

TEL: 090-4857-9130  
URL: http://www.nygs-office.com/